

聖血

第89号



◆「同行同修」～共に学び 共に行ずる～

- 会長 千田 祥幹 2
- ◆令和5年度事業報告 3
- ◆令和5年度収支決算報告 4
- ◆令和6年度事業計画 5
- ◆令和6年度予算書 6
- ◆青年会員をたずねて③ 7

- ◆令和6年度第1回研修会 8
- ◆令和6年度ソフトボール大会報告 10
- ◆全曹青50周年記念式典 10
- ◆サンタピアアップみやぎボランティア会 ... 11
- ◆令和6年度定例総会報告 12
- ◆新入会員紹介・卒業会員・今後の予定 12



会長挨拶

「同行同修」～共に学び 共に行ずる～

第28期会長 洞雲寺 副住職 千田 祥幹

本年四月の定例総会をもって、宮曹青第二十八期も折り返しを迎えました。県内ご寺院様におかれましては当会に対し格別のご厚情を賜りましたこと、衷心より感謝申し上げます。

当会ではこの一年、コロナ禍前とほぼ変わらない形で各行持を務めることができました。ご加担いただきました正会員・賛助会員・特別会員の皆様に対しましてもこの場を借りて御礼申し上げます。

また、元日に発生いたしました能登半島地震におきましては、今尚厳しい環境での生活を余儀なくされておられる方が数多くいらっしゃいます。被災地の早期復旧と被災者皆様の安寧を心よりお祈り申し上げます。

さて、本年五月には、東京グランドホテルを主会場に全国曹洞宗青年会以下、全曹青の創立五十周年記念式典が開催されました。式典には全曹青第二代目の会長を務めた石附周行紫雲台猥下にもご臨席を賜りました。

その式典に於いて、ある歴代会長の言葉に胸を打たれました。「青年僧侶は、次代を担う僧侶ではなく、現代を担う僧侶であるべきだ」

思えばコロナ禍後に会長を拝命して以来、私の中には次の世代を担う新しい会員に宮曹青の行持を引き継いでいかなければならない、という気持ちばかりが先んじていたように感じられます。

す。自らが現代（いま）この時を懸命に行ずることこそが次なる現代（いま）を生み出していく、それが青年僧侶としてあるべき姿なのだという気づきを頂戴した言葉でした。

今年度も既にソフトボール大会、臨濟宗瑞巖寺様を会場とした研修会、志津川復興住宅での傾聴活動が開催され、他にもチャリティバザー等の企画が進められており、それらは随時SNS・HPを活用して情報発信されています。各委員会毎に会員各々のアイデアが躍動する場所として宮曹青が存在できていることは誠に喜ばしい限りです。

また、当会が主管するサンタピアップみやぎボランティア会においては、本年三月に実に六年ぶりとなるカンボジアスタディーツアーを開催することができました。今回は四年前の神作会長在任時に竣工されるも、コロナ禍により延期されていた通算二十校目となるアンプ・ルー小学校を訪れるツアーとなりました。既に建設から数年が経過していたにも関わらず、子供たちをはじめ、学校関係者や大勢の地域住民の方々から熱烈な歓迎を受ける中での盛大な贈呈式となりました。

現在のカンボジアは、都市部を中心に急速な発展を遂げる一方、農村部の状況は旧態依然としており、地域格差はより拡大しているように感じられました。教育・雇用・収入にまつわる

負の連鎖の問題に対し、サンタピアップの活動は大海の一滴に過ぎないかもしれませんが。しかし、今回私たちが小さな手を合わせて歓迎してくれた子供たちの笑顔の前に、今後も地道な活動を継続していかななくてはならないという決意を新たにしました次第です。

結びに、本年は大本山總持寺を開かれた太祖瑩山紹瑾禅師様の七百回大遠忌にあたります。瑩山禅師様は洞合記の中で、

「たとひ難値難遇の事有るとも必ず和合和睦の思いを生ずべし」

とお言葉を残されました。困難なことに遭遇したとしても人と人とが心を一つにし、手を取り合って歩むことの大切さを説いたその言葉は七百年後の今、災害や格差、環境問題等に直面している私達へ向けられたお示しでもあります。今後も宮曹青会員一同、同行同修、和合の僧として各種活動に邁進してまいりたいと存じます。

県内御寺院様はじめ各会員の皆様には、これまでと同様にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和5年度宮城県曹洞宗青年会事業報告

●宮城県曹洞宗青年会

月日	事項	場所	備考
令和5年			
4月5日	第1回役員会・理事会	洞雲寺	
4月18日	定例総会・合同委員会	新寺清月記	70名参加
4月28日	宗務所挨拶	宗務所	4名参加
5月9日	寺族会総会	アーリー迎賓館（錦ヶ丘）	1名参加
5月15日	SVA挨拶	シャンティ国際ボランティア会（新宿区）	3名参加
6月5日	宗務所共催ソフトボール大会	仙台市海岸公園野球場	192名参加
6月19日	第2回役員会・理事会	鉤取寺	
7月2日	サンタピアップみやぎボランティア会総会・研修会	国分尼寺	サンタピアップ関係
7月20日	第1回研修会	洞雲寺・リモート併設	55名参加
8月15日	終戦行持「戦災慰霊供養・平和祈念の鐘」	県内御寺院	
9月3日	ふうどばんく東北AGAIN主催「みんなのマルシェ」（サンタピブース設置）	プランチ仙台（仙台市）	
9月12～13日	カンボジア教育支援チャリティバザー	栗駒総合体育館（栗原市）	サンタピアップ関係 前日83名参加 当日69名参加
10月3日	梅花流県奉詠大会 （宗務所要請にて広報編集委員会による撮影・サンタピブース設置）	サンブラザ	3名参加 サンタピアップ関係
10月15日	曹洞宗福島県青年会主催「ふくしま禅フェス」 （サンタピ写経体験・ブース設置）	會津藩校日新館（福島県）	
10月23日	第3回役員会・理事会	鉤取寺	
11月20日	第2回研修会	洞雲寺	52名参加
11月24日	サンタピカレンダー組立作務	江巖寺	サンタピアップ関係
12月11～12日	カンボジアフェア	セルバ	サンタピアップ関係
12月21日	第4回役員会・理事会	鉤取寺	
//	忘年会	ホテルニュー水戸屋	34名参加
令和6年			
2月1日	能登半島地震支援募金活動	仙台市東二番丁通り	18名参加
2月5日	会員大会	ホテルグランテラス・ポウルサンシャイン	98名参加
2月21日	能登半島地震被災地ボランティア活動	石川県七尾市	11名参加
2月26日	ハガキリサイクルキャンペーン	江巖寺	サンタピアップ関係
3月1日	能登半島地震支援募金活動	石巻市道の駅「上品の郷」	9名参加
3月7～8日	カンボジアフェア	藤崎	サンタピアップ関係
3月11日	東日本大震災慰霊行脚	石巻市大川地区	24名参加
3月13日	第5回役員会・理事会	鉤取寺	
3月24～30日	カンボジアスタディツアー	カンボジア	サンタピアップ関係

※この他「三役会」「宮城大会準備会」「発送作務」を随時開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会（地協）

月日	事項	場所	備考
令和5年			
5月23日	定例幹事会	渡り温泉ホテルさつき（岩手県）	5名参加
8月31日	常任幹事会	青森県	1名参加
10月20日	東北地方集会「青森大会」	ル・グランクール（青森県）	12名参加
令和6年			
2月28日	常任幹事会	岩手県プランニュー北上	1名参加

●全国曹洞宗青年会（全曹青）

月日	事項	場所	備考
令和5年			
5月14日	中央研修会	東京ブランドホテル	11名参加
5月15日	定期総会	//	13名参加
10月29日	臨時評議委員会・創立50周年記念事業 両大本山報恩拝登	總持寺	3名参加

令和5年度 収支決算報告

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

●収入の部

項目	本年度予算	本年度決算	比較増減	備考
I 会費収入	3,275,000	3,205,000	▲ 70,000	
1.正会員	1,820,000	1,770,000	▲ 50,000	10,000円×177名
2.賛助会員	755,000	785,000	30,000	5,000円×157名
3.特別会員	700,000	650,000	▲ 50,000	10,000円×65団体
II 助成金	300,000	300,000	0	宗務所より
III 雑収入	1,419	12,556	11,137	無聖発送代残金、利子
IV 繰越金	2,123,581	2,123,581	0	前年度より
合計	5,700,000	5,641,137	▲ 58,863	

●支出の部

項目	本年度予算	本年度決算	比較増減	備考
I. 会議費	200,000	165,000	▲ 35,000	
1.総会費	50,000	40,000	▲ 10,000	定例総会
2.理事会費	25,000	25,000	0	会場費 5回
3.役員会費	25,000	25,000	0	会場費 5回
4.委員会費	100,000	75,000	▲ 25,000	4委員会・事務局会開催費
II. 事務費	1,500,000	961,579	▲ 538,421	
1.消耗品費	300,000	46,850	▲ 253,150	事務用品、用紙代等
2.通信費	650,000	460,596	▲ 189,404	郵送料、振込手数料、電話料、HP管理費、ZOOM使用料
3.印刷費	150,000	85,800	▲ 64,200	封筒・名刺印刷
4.備品費	150,000	162,897	12,897	事務機使用料・パソコンソフト・名札代
5.慶弔費	50,000	5,436	▲ 44,564	慶弔電報等
6.事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助
III. 事業費	2,300,000	2,075,023	▲ 224,977	
1.研修委員会	250,000	232,671	▲ 17,329	研修会×2回
2.ボランティア委員会	250,000	158,182	▲ 91,818	チャリティーバザー
3.広報編集委員会	600,000	577,500	▲ 22,500	『無聖』発行×2回
4.交流事業委員会	250,000	229,670	▲ 20,330	ソフトボール大会、会員大会
5.教化費	100,000	0	▲ 100,000	
6.事業諸費	400,000	415,000	15,000	旅費補助（全曹青・地協・会議参加者）
7.会員名簿作成費	450,000	462,000	12,000	第28期会員名簿作成費
IV. 負担金	300,000	237,000	▲ 63,000	全曹青・地協会費、ストックヤード維持費
V. 予備費	700,000	0	▲ 700,000	
VI. 雑費	250,000	94,322	▲ 155,678	渉外活動費、各会議茶菓等
VII. 繰出金	450,000	450,000	0	
ボランティア基金	100,000	100,000	0	ボランティア基金へ繰出し
特別事業準備金	350,000	350,000	0	特別事業準備金へ繰出し
復興支援活動金	0	0	0	
合計	5,700,000	3,982,924	▲ 1,717,076	

■特別会計決算書

- ボランティア基金 1,840,560円
- 特別事業準備金 3,110,864円
- 復興支援活動金 1,232,177円

総収入 5,641,137円
 総支出 3,982,924円
 差引 1,658,213円

令和5年度の決算書を上記の通り提出致します。

令和6年4月17日 会長 千田 祥幹 ㊞

【監査報告】 令和6年4月1日、1教区鉤取寺様において監査を行い

令和5年度一般会計が適正に執行され、正確であることを確認いたしました。

監事 小枝 誠智 ㊞ 八巻 英成 ㊞ 酒井 禅悦 ㊞

令和6年度 事業計画

●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	場 所	備 考
令和6年			
4月1日	理事会①	鉤取寺	
4月17日	定例総会	仙台中央斎場清月記	
6月5日	ソフトボール大会	仙台市海岸公園野球場	
6月中旬	理事会②	未定	
7月	第1回研修会	未定	
7月上旬	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	未定	サンタピアップ関係
8月下旬	「無聖」89号発行		
9月中旬	カンボジア教育支援チャリティバザー	第10教区	サンタピアップ関係
10月上旬	梅花県奉詠大会	マルホンまきあーとテラス	
10月上旬	理事会③	未定	
12月上旬	理事会④	未定	
12月中旬	カンボジアフェア	セルバ	サンタピアップ関係
12月中旬	年次総会	未定	
12月中旬	忘年会	未定	
令和7年			
2月	会員大会	ホテルグランテラス仙台 他	
2月	移動研修会	未定	
2月下旬	ハガキリサイクルキャンペーン	未定	サンタピアップ関係
3月中旬	理事会⑤	未定	
3月下旬	カンボジアフェア	藤崎	サンタピアップ関係
3月下旬	「無聖」90号発行		

※復興関連事業は被災地の事情等を考慮し適宜開催

※役員会・各委員会・事務局会は適宜開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会（地協）

月 日	事 項	場 所
令和6年		
5月上旬	常任幹事会・定例幹事会	岩手県
11月19日	東北地方集会「山形大会」	山形テルサ(山形県)

●全国曹洞宗青年会(全曹青)

月 日	事 項	場 所
令和6年		
4月26日	花まつり 千僧法要	奈良県 東大寺
5月23、24日	50周年記念式典・講演、評議委員会、総会	宗務庁
7月8日	災害復興支援活動全国研修会 東北管区	第21教区見松寺

令和6年度 予算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

●収入の部

項目	5年度予算	6年度予算	比較増減	備考
I 会費収入	3,275,000	3,235,000	▲40,000	
1.正会員	1,820,000	1,770,000	▲50,000	10,000円×177名
2.賛助会員	755,000	785,000	30,000	5,000円×157名
3.特別会員	700,000	680,000	▲20,000	10,000円×86団体
II 助成金	300,000	300,000	0	宗務所より
III 雑収入	1,419	6,787	5,368	利息等
IV 繰越金	2,123,581	1,658,213	▲465,368	前年度より
合計	5,700,000	5,200,000	▲500,000	

●支出の部

項目	5年度予算	6年度予算	比較増減	備考
I. 会議費	200,000	250,000	50,000	
1.総会費	50,000	100,000	50,000	定例総会・年次総会
2.理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3.役員会費	25,000	25,000	0	会場費
4.委員会費	100,000	100,000	0	4委員会・事務局会開催費
II. 事務費	1,500,000	1,500,000	0	
1.消耗品費	300,000	300,000	0	事務用品、用紙代等
2.通信費	650,000	650,000	0	郵送料、振込手数料、電話料、HP管理費等
3.印刷費	150,000	150,000	0	封筒印刷等
4.備品費	150,000	150,000	0	事務機使用料等
5.慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔電報等
6.事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III. 事業費	2,300,000	2,000,000	▲300,000	
1.研修委員会	250,000	250,000	0	研修会×1回・移動研修会
2.ボランティア委員会	250,000	250,000	0	チャリティバザー
3.広報編集委員会	600,000	600,000	0	『無聖』89・90号発行
4.交流事業委員会	250,000	250,000	0	ソフトボール大会・会員大会
5.教化費	100,000	200,000	100,000	研修会等
6.事業諸費	400,000	450,000	50,000	旅費補助(全曹青・地協等)
7.会員名簿作成費	450,000	0	▲450,000	
IV. 負担金	300,000	300,000	0	全曹青・地協会費・ストックヤード維持費
V. 予備費	700,000	550,000	▲150,000	
VI. 雑費	250,000	250,000	0	渉外活動費、各会議茶菓等
VII. 繰出金	450,000	350,000	▲100,000	
ボランティア基金	100,000	0	▲100,000	
特別事業準備金	350,000	350,000	0	特別事業準備金へ繰出し
復興支援活動金	0	0	0	
合計	5,700,000	5,200,000	▲500,000	

■特別会計予算書

- ボランティア基金 1,840,560円
- 特別事業準備金 3,460,864円
- 復興支援活動金 1,232,177円

総収入 5,200,000円
 総支出 5,200,000円
 差引 0円

令和6年度の一般会計並びに特別会計予算書を上記の通り提出いたします。

令和6年4月17日 会長 千田 祥幹 ㊟

青年会員をたずねて③

～様々な活動をされているご寺院様の紹介～

山元町 徳本寺



信眼師は、仙台市泉区見松寺様の

第三回となる「青年会員をたずねて」は、公認心理師という国家資格を取得し、週に一度中学校のスクールカウンセラーとして勤務されている山元町徳本寺副住職 小林信眼師にお話を伺いました。

徳本寺様は、嘉吉元年(二四四)に現在の福島県梁川町の地頭、大條孫三郎宗行(おおえだまごさぶろうむねゆき)が建立し、新潟県村上市耕雲寺六世 太庵梵守(たいあんぼんしゆ)大和尚によって開山されました。その後、山元町坂元白小路に移転しましたが、二度の火災に遭い現在地に境内を構えました。

二男として生をうけ、東北福祉大学卒業後、同大学院に二年在学。後に大本山總持寺で修行されました。その中でいつの頃からか子供に携わる仕事、それも単に福祉や教育ではなく、特に病床にいる子供や幼くして死と向き合うような子供たちの支えになりたいと考えようになったそうです。そして、カウンセラーという職業があることを知り本格的に志を立てるに至りました。信眼師は心理職を目指すことになった経緯について「今思うとお寺で生まれ育ったという環境が背景にあると思います」と自身を振り返りました。

公認心理師とは、保険医療や福祉、教育などの幅広い分野において、心理学に関するさまざまな専門知識と技術をもって対象者へ指導や助言、援助をおこなう専門家です。プライベートの關係上、詳しい内容を聞くことはできませんでしたが、信眼師が現在勤務されている中学校では、自傷行為や摂食障害、家庭環境の悩みなどを抱える生徒が相談に来るそうです。勇気を出して来てくれた生徒が安心して自分の気持ちを打ち明けられる環境をつくること、言葉にできないメッセージも見逃さ

ないよう注意深く気を配ることが大切だと話してくださいました。

「カウンセラーは黒子のような存在で、生徒のために試行錯誤して、悩みや問題が解消したり良い方向に変化すれば影のように消える、そのような脇役だと思っています」

目立たずとも影のように寄り添い支える信眼師の活動は、一方では子供たちにとってひとすじの光でもあると感じさせられました。



令和六年度第一回研修会

令和六年七月十七日(水)、松島町にあります瑞巖寺様に今年度第一回研修会を行いました。寺院では県内唯一の国宝であり臨済宗妙心寺派の修行道場でもある瑞巖寺様に拝登させていただき、瑞巖寺様の歴史を学ぶとともに臨済宗の禅風に触れることで宗侶としての知見を広げ、曹洞禅への見識をより深めることを本研修の目的とし企画、開催致しました。今回、瑞巖寺様には格別の配慮を賜り国宝の本堂にて拝登諷経、本来立ち入り禁止の本堂内陣や修行道場の見学、禅堂での臨済宗式の坐禅体験、現役修行僧による参禅・喫飯作法の実演、そして最後に瑞巖寺執事長様から「臨済宗の僧堂生活と課題について」と題してお話をいただくという内容にて研修を行いました。

当日は正会員、賛助会員の計五十二名が参加し、初めに荘厳な本堂に於いて曹洞宗の法式にて拝登諷経を挙げました。その後は二班に分かれ五十分交代で本堂・庫裡拝観の班・禅堂にて坐禅体験及び参禅・喫飯の実演見学の班にて研修を行いました。本堂拝観では本堂内陣などにて瑞巖寺様の歴史や伊達政宗公の位牌、伽藍の装飾、襖絵、明治天皇がお泊りになった上々段の

間などエピソードを交え事細かにご説明をいただきました。そして禅堂では現在安居中の六名の修行僧の方々にもご協力いただき、曹洞宗という新到上山の様子から、禅堂での坐禅、公案による参禅(独参)と喫飯作法の実演をいただきました。特に禅堂では我々も臨済宗式の面壁をしない対面での坐禅をし、希望者には警策を入れていただきました。私自身も体験しましたが、作法としてはまず如法が絡子での坐禅の為絡子を外し、対面で頭を下げ背中を丸めてうずくまるような姿勢をとり、そして背筋の上部に左右二回ずつ打ち込むというものでした。音は大きくとも痛みはさほどなく身が引き締まりました。公案による参禅の様子は曹洞宗には通常ないものであり、喫飯はいわゆる僧堂飯台のようなもので共通する部分もありましたが全てが颯爽とし、丁寧な中にもお唱えや給仕の進退作法などは激しさもあり非常に興味深いものでした。本堂、禅堂いずれにおいても参加者皆が興味をもって話を聞き、またそれぞれの場所で質問をするなど非常に熱心に研修している様子でした。最後の執事長様のお話では、臨済宗の僧堂生活などについて概略を説明いただき、大変多くの学びを得ることができま

した。

曹洞宗は黙照禅。臨済宗は看話禅と言われています。いただいた資料と説明に、看話禅は「坐禅中は勿論、行住坐臥、常に問題に向き合い拈提するが、公案が修行(目的)では無く公案を以て修行することが大事」とありました。これは曹洞宗の「所謂坐禅は習禅には非ず」目的の為の手段として坐禅をするのではない。という教えと通ずるところがあると感じました。

曹洞宗と臨済宗は同じ禅宗であり、ともに坐禅を主とする中でもその考え方や、取り組み方の違いがあることは知っていても、百聞は一見にしかずというように、今回ほんの部ではありますが実体験を通して学べたことで宗侶として新たな気づきを得ることができたのではないかと思います。

最後に打ち合わせから当日に至るまで、格別の配慮を賜りました瑞巖寺様、山内御一同様、そしてご参加いただいた会員皆様にご心より感謝申し上げます。有難うございました。

(研修委員長 岩井大秀)





坐禅の様子



山内の説明を受けている様子



拝登諷経の様子

令和六年度ソフトボール大会報告

令和六年六月五日、仙台市海岸公園野球場において、令和六年度ソフトボール大会が開催されました。お忙しい中、特別会員様はじめ二百名を超える多くの会員の皆様にご参加いただきました。前日までの梅雨空が嘘のような晴天のもと大会当日を迎え、汗を流しながら会員相互の親睦を深めることができました。

本年は、分け隔てなくプレーを楽しんでいたという趣旨のもと運営を行いました。たくさんの方の打撃機会に恵まれるよう、試合を三回裏まで必ず行うというルールを設けました。チーム総出で手に汗握る熱戦が繰り広げられた中、大会を滞りなく進行でき安堵しました。

今期最後のソフトボール大会を終えることができました。企画・運営などにご尽力いただきました関係各位、ご参加いただきました会員の皆様にご感謝申し上げます。大会の無事圓成をご報告申し上げます。皆様、誠にありがとうございました。

交流事業委員長 三田村孝成



全曹青五十周年記念式典

令和六年五月二十三日、曹洞宗檀信徒会館において、全国曹洞宗青年会創立五十周年記念式典が開催されました。第二代会長を務めた大本山總持寺石附周行紫雲台院下にもご臨席いただき、祝辞を賜りました。

全曹青の初代会長は当県第一教区林香院様の故門脇允元老師であります。石附禪師の祝辞の中でも門脇老師との思い出、全国的な組織を作り上げたご苦労など、当時の貴重な話をお伺いすることができました。

諸先輩方の積み上げてきた歴史をつなぎ、より活発な活動をしていくために決意を新たにすよい機会でありました。宮曹青も今年で創立五十五年を迎えますので、当会の更なる発展を願い歩んでまいりたいと考えています。

（事務局長 都築達明）



大本山總持寺
石附周行紫雲台院下▶



宮曹青主管 カンボジア教育支援活動 「サンタピアアップみやぎボランティア会」

令和六年度「定例総会」報告

去る六月三十日(日)、仙台市江巖寺様を会場に「令和六年度定例総会」・「カンボジアスタディツアー報告会」が開催されました。

本年度の事業として、これまでの書き損じハガキと切手の収集のほか、オリジナルカレンダーの販売、カンボジア教育支援写経の販売、各種催事へのブース出店などを展開してまいります。

また、本年三月に開催されたカンボジアスタディツアーの報告会を行いました。小学校訪問時の新しい校舎や、子どもたちとの交流の様子、保護者や教師、村長さんから戴いたお声をご紹介しました。

当会のホームページにツアーの動画を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



令和五年度のぞ報告

- ◆ご提供頂いた書き損じハガキ枚数・・・七、七九九枚
- ◆交換ハガキ売上金・・・九九二、一〇〇円
- ◆カレンダー事業・・・九〇〇、三〇〇円
- ◆カンボジア教育支援写経事業・・・三〇、一二〇円
- ◆寄付金総額・・・一、三五三、〇〇二円

当会オリジナル

『二〇二五年卓上カレンダー』並びに

『カンボジア教育支援写経』製作・販売

今年もオリジナルカレンダーおよびカンボジア教育支援写経の販売をいたします。カレンダーは秋口より販売開始予定、写経は通年販売しております。

E-mail: info@santapi.com

ホームページ: <https://www.santapi.com/>

●卓上カレンダー 一部 三〇〇円

(ハガキサイズ・カラー十六枚組・ケース付)

●カンボジア教育支援写経 一部 三〇〇円



■書き損じハガキの送り先

〒981-0944

仙台市青葉区子平町3-23

仙台市平町郵便局留「サンタピアアップ」宛

■寄付金の送り先

郵便振替口座

名義 サンタピアアップみやぎボランティア会

口座番号 0229016148744

■ホームページ

スタディツアーの様子の動画もご覧いただけます。

ご覧下さい。

URL: <https://www.santapi.com/>

■サンタピアアップ事務局

〒981-0933

仙台市青葉区柏木3-7-40 江巖寺内

TEL: 080(3144)3020(専用)

FAX: 022(276)7426

E-mail: info@santapi.com

ホームページ: <https://www.santapi.com/>



令和六年度定例総会報告

去る令和六年四月十七日（水）午後三時半より、仙台中央斎場清月記に於いて「令和六年度定例総会」が開催されました。事務局より定足数が確認され、計百十八名（正会員五十九名参加（リモート含む）、委任状五十九通）により総会の成立が確認されました。

議長には第二十一教区 満興寺 時泰広師が選出され、議長進行のもと次の事項が慎重に審議され、全て承認を頂きました。

審議事項

- ① 令和五年度ボランティア活動報告並びに決算報告
- ② 令和五年度復興支援活動報告並びに決算報告
- ③ 令和五年度各委員会活動・宮曹青事業報告
- ④ 令和五年度収支決算報告並びに監査報告
- ⑤ 令和六年度各委員会活動予定・宮曹青事業計画（案）
- ⑥ 令和六年度予算（案）
- ⑦ その他

渡邊副会長の閉会宣言を以って本年度の定例総会が無事終了致しました。



新入会員紹介

四教区	耕龍寺	徒弟	清水玄道
四教区	慶蔵院	徒弟	佐藤泰秀
十六教区	満福寺	副住	菊地志門

卒業会員

一教区	瀧澤寺	住職	庄司行正
一教区	金剛寺	住職	根本秀逸
一教区	保壽寺	住職	伊藤孝裕
四教区	秀麓齋	住職	長澤信慈
四教区	慶雲院	住職	清水大伸
四教区	法雲寺	住職	井上寛尚
四教区	常光寺	住職	高橋大輔
五教区	龍島院	住職	丹羽貴道
五教区	富光寺	住職	木村道隆
九教区	廣禪寺	住職	内藤栄松
九教区	慈眼寺	住職	梅澤信隆
九教区	雲正寺	住職	藤元隆
九教区	法圓寺	住職	高橋宣秀
十二教区	洞泉院	従弟	鈴木賢
十三教区	洞源院	副住	小野大通
十四教区	海蔵寺	副住	鈴木木
十四教区	長源寺	住職	村田真隆
二十教区	龍興院	住職	鈴木道順
二十一教区	興禅院	副住	千田道順

今後の予定

*第二十八回カンボジア教育支援チャリティーバザー
 ◎日時：令和六年九月六日（金）午後一時より販売
 ◎場所：遠田郡美里町北浦下新田九七一
 美里町トレーニングセンター
 本年も皆様のご参加と物品提供、並びにご協力の程よろしく
 お願いいたします。

編集後記

宮曹青第二十八期も一年が過ぎ、今期最後の一年がスタートしております。改めて人と人のつながりの有り難さを感じながら、写真撮影や取材をさせていただきました。会長挨拶にもありましたが、いまこの時を懸命に行じながら残りの任期を務めてまいります。
 （広報編集委員長 佐藤邦彦）



表紙写真 瑞巖寺様拝登風経の様子

無聖 第89号（令和6年8月31日発行）

表紙題字 宗務所長 伊藤守弘 老師
 編集 宮城県曹洞宗青年会
 発行人 千田祥幹
 事務局 宮城県仙台市太白区
 鉤取4-1-21 鉤取寺内
 TEL 090-2849-3830（専用）
 FAX 022-243-1832
 URL <http://miya-sousei.com>
 E-mail info@miya-sousei.com